

## シリーズ 木材需要拡大と新製品開発 内装材の需要拡大を

株式会社榎戸材木店  
会長 榎戸 正人

政府はスギ花粉症対策として伐採量を増やし、花粉の少ないスギか他の樹種に植え替えるように指示を出しました。しかし、伐採した木材を何に使うかについては何も言っていません。それは木材業界が考えることで、国が関与する話ではないと考えているのでしょうか。需要の拡大を考えずに供給を増やされたのではたまりません。何とも無責任な政策です。

これから日本の人口が減っていく中で、住宅着工数が減少していくことは間違いなく、木造住宅で需要を拡大するのは不可能です。柱の数を倍にするとか、柱の太さを6寸角にするなど無理に話です。しかし、住宅分野において、木材需要を増やす方法はあります。前述のように構造材では無理ですが、内装材ならまだまだ需要を増やせる余地は十分にあります。

内装材なんて使用する木材の量が少なくて、魅力がないと思われるかも知れませんが、単価は構造材よりもはるかに高いので、売り上げには貢献します。但し、品質がしっかりしたものを取り扱わないと、あとから収縮や反りなどのクレームが来る可能性があります。

国産のものよりも中国製のものの方が安いので、価格競争になると負けてしまいますが、品質の差をどこまで理解して貰えるかが勝負です。住宅メーカーにとって、クレームのリスクは大きいですし、国産であることもウリになるでしょう。

床のフローリングは硬くて傷が付きにくい広葉樹が多く用いられてきましたが、最近では傷がついても良いから柔らかくて暖かいスギの床材をとの声も増えて来ました。特に小さな子供のいる家庭では、転んだりしても怪我が心配が少ないスギは人気があるようです。

何年か経って傷が目立つようになったら、専門業者にサンダー掛けをして補修してもらう方法と、全面的に張り替える方法があります。当社の江東区の平野の賃貸マンションは借主が入れ替わるたびに当社の社員数人で張替えをします。内装工事は手間賃が高いため、自社で行えば補修するより安く済みます。

間取りはわかっていますから、あらかじめカットして持ち込んで施工すれば、全ての部屋の張替えは2日間もあれば終了するので、すぐに次の募集をすることが出来ます。賃貸経営にとって、これは大きなメリットです。

都内のマンション価格が1億円を超えて話題になりましたが、2億、3億のマンションを買えるパワーカップルにとって、高級感のある内装は価格が多少高くても気にはならないと思います。住宅価格が値上がりした今こそ、内装に木を使ってもらうチャンスだと思います。